

いとはん、こいはんや丁稚が今にも出てきそうな
船場の3階建て町家

北野家住宅



所在地：大阪市中央区平野町 4-2-6
建設年：1928年
構造・規模：木造3階
設計：不詳

近代になったからといって、都心に鉄筋コンクリート造や鉄骨造のビルばかり建設されたわけではない。昭和時代の初期にも、木造の町家は相変わらず建てられた。しかし都市が高層化・高密度化していくなか、近世にはなかった3階建て町家が登場する。大阪の都市部は空襲によって焼け野原と化したのが、この北野家は焼夷弾の直撃を受けたにもかかわらず奇跡的に残った。現在はオーナーによって丁寧に手入れされており、まるで昨日まで住んでいたかのように家具・調度が残されていて、往時の船場商人の暮らしぶりを今に伝えてくれる。(高岡伸一)